



バドミントン山形

山形県バドミントン協会広報 2011 No.46

<http://www.badminton-yamagata.net> - 大会日程等はこちらでご覧になれます -

第46号

平成23年3月19日

発行

山形県


バドミントン

協会

印刷 株式会社大風印刷



第19回全国小学生選手権大会 男子団体 準優勝



**全日本教職員バドミントン選手権
大会開催に向けて**

実行委員会副会長 鹿野昭男

第五十回全日本教職員バドミントン選手権大会が、平成二十三年七月三十日から八月二日までの競技日程で、山形県体育館、山形市スポーツセンターを会場に開催されます。インターハイ(全国高校総体)後に、近県で実施されるのが通例ですが、今回、北東北(青森、岩手、秋田)インターハイで、バドミントン競技は弘前市で八月十五日から二十日に行われるため、東北の大きな夏祭りとの重複を避けた形をとり、上記の日取りとなったと思われれます。

昨年十一月の末に、本大会に向け、第一回の実行委員会を立ち上げました。高橋克彦(教職員連盟事務局長)、横山正(教職員連盟理事長)両先生の四十九回鹿児島県で教職員大会の視察の報告を受け、日本バドミントン協会との関わり、委員会内の役割分担、組織、予算の概要などを確認しました。

また、実行委員長を務める金森義弘県協会会長挨拶に、全国規模の大会招致は、レベルの高い試合を見られるチャンスでもあり、ジュニア育成にもつながること。大会参加資格のある地元教職員が、たくさん選手として参加できる機会でもあること。それに県協会と県教職員連盟が協力と言うまでもなく、各地区協会との連携を保つてこそその意義があるのではなど、地元開催に対する前向きな話がありました。

県の教職員が「全国教職員大会参加への意欲的参加」、「指導力向上」を目的に、「スタートを切り、高校の合同研修合宿(現バドミントンチャピオンシップ)を企画し、日本教職員連盟に登録、加入してから、十余年、いまや、参加対象は拡大し、中学生のみならず、小学生まで対象とする大会に成長してきました。一方、全国教職員大会参加も、校務、指導など多忙のなか、四十四回には小野和之先生が三位、四十七回には、神保一寿先生が二位と、ともに三十歳代シングルスで、実績を残しました。

県のバドミントン界は、ジュニアからシニア、レディースを含め、非常に幅の広い愛好者を包含するようになり、指導者のな立場の方も多方面にわたっています。教職員連盟の会員の皆様においては、大会などでの結果を残すの言うまでもなく、指導者としても、先覚者となり、バドミントン王国建設の一端を担ってほしいと考えております。県協会会員の皆様方の多くの方々に、いろいろな協力をお願いすることになります。その節は、よろしく願います。

第十九回全国小学生バドミントン選手権大会 準優勝までの軌跡

山形県小学連盟理事長 男子監督 遠藤 宏

昨年十二月二十四日から二十八日愛知県松山市の愛知県武道館及び松山市コミュニティセンター体育館において標記大会が開催され、本県男子が、都道府県対抗戦で準優勝の栄誉に輝くことが出来ました。ここに到達するまでの経過を辿ってみました。

八月の県予選では、選抜された選手は順当に勝ちましたが、十月の東北大会では、ダブルス・シングルス共に苦戦をしいられ、ダブルスは何とか三年連続優勝を果たしましたが、シングルスは二位に甘んじる結果となりました。

十一月の東北県対抗大会では、東京・北海道のチームを招聘して開催されていますが、ここから選手の精神的な弱点が露呈しはじめ、二日間の試合の間立て直すことはできませんでした。内容は、ゲームを取っても二ゲームを簡単に落としファイナルゲームで勝つ自信を失った状態で敗退することになったことがチーム全体に広がり選手は下を向いてしまいました。

私たち指導者も叱咤激励しながら一番の原因は何かを分析しました。その結果、勝ち急ぎと焦りによる体のこわばり、そこから不十分な体制での攻めによるミスショットの連続との結論を得てアドライブしました。しかし、立ち直ることは出来ず結果は全体で六位、東北で四位という結果に終わりました。

全国大会でのベスト八の目標に暗雲が立ち込めた状態で十二月の全国大会強化合宿をむかえ中学生相手に練習を重ねましたが、一ヶ月前の状況が回復しきれない状態が本番を迎えることとなりました。監督・コーチを中心に選手所属の監督よりABC大会・若葉カップ等の情報を得て、一回戦のゲームで相手選手の分析を密にしてオーダーを決定し試合に臨みました。最初から各選手には負けない気持ちを持ち続けるように檄を飛ばしつつづけてきましたが、二回戦の石川県戦のスコアを見る通りかろうじての勝利でした。

ダブルスの二ゲーム終了時点では、まだまだ悪い意識を引きずっている状況が見てとれました。そこで、選手の気持ちの昂りを抑え冷静に試合ができるようにとファイナルを前にした一二〇秒のインターバルを使い切ったの指導で何とかファイナルゲームを凌ぎ切り勝利

をものにする事ができました。三回戦ベスト八入りの対戦相手は強豪大阪府。試合はすべてファイナルゲームの展開となりましたが、接戦を制して勝利できたことで負けない気持ちを持ち続ける自信が持てたようであり、波に乗ることができました。準々決勝、準決勝共に、二〇で勝つことができたのは大阪府戦の勝利が大きかったと思います。決勝戦は、東京都戦でこれまでの勢いで優勝を目指し臨みましたが、ダブルスは一枚上のレベルでした。続く第一シングルスは苦戦しながらも意地をみせ勝利しましたが、第二シングルスは今ひとつ力及ばず準優勝という結果に終わりました。

しかし、選手達は試合を重ねる毎に自分達の持ち味を発揮し、平常心に近い試合を展開し成長していくさまを目の当たりにする事が出来て感動を与えてくれたこと。そして決勝の試合の場に立ち会えたことにこの上ない幸せを感じました。

東北団体戦・強化合宿のなかで、苦しみもがきながら県代表としての自覚が芽生え仲間意識も育ち、チームワークがこの成果を生み出すことができました。また、女子選手を含め本県選手団が一体化出来たことは、今大会での大きな収穫でした。

日ごろから選手団への物心両面で応援していただいた方々、遠路選手を引率し、会場では必死で応援していただいた保護者の皆様、関係者の皆様には紙面をお借りし心から感謝申し上げます。

平成二十五年度は、全国小学生バドミントン選手権大会の山形県開催が決定しております。バドミントン界も多分にもれず少子化の影響を避けられず、年々登録人数が減少する中ですが、二十五年に向けて選手強化育成に小学生連盟あげて段階を踏みながら、活動を展開していく予定です。各チームの活動については、所属する各地区協会の協力は欠かせないものと思います。よろしくお願いたします。また、県協会ははじめ各連盟・各関係機関の一層のお力添えをお願いします。

男子都道府県対抗準優勝選手

- 渋谷 光希 6年 鶴岡ジュニアバドミントンクラブ
- 大島 千聖 6年 山口バドミントンスポーツ少年団
- 鈴木 遊 6年 山口バドミントンスポーツ少年団
- 後藤 駿斗 6年 いつきバドミントンスポーツ少年団
- 小野 優真 5年 鶴岡ジュニアバドミントンクラブ



「感謝・感謝」

全国本シニア選手権 準優勝 佐藤 美代子

私がこの大会と出会ってから早や二十年の歳月が三十一代半ば、関東で開催された時初めてこの大会に出場、大好きなシングルスがこんな年齢でも出られる、それも全国大会で自分の力を試せるんだ」と思うとワクワクドキドキでした。全日本の大会や日本リーグでかつて活躍し、バドミントンマガジンでしか見たことのない選手と同じコートで戦う醍醐味は私のような素人で始めた者には言葉で言い尽くせない程「感動」そのものでした。結果は復はベスト8、シングルスもベスト8だったと思います。平成十一年福島大会で初めて単・複とも三位に入賞できたことで益々私の中で大会への思いがヒートアップしていきました。

一日目は六、八試合、二日目は単・混合同様の試合数、三日目最終日に残れる人は、参加者三〇〇人の中のほんの一握り、技術も何もない自分が最終日まで残るには本当に激闘の連続です。

ただ「感動」や「戦える喜び・幸せ」だけでは勝ちすすめない何かがない。平成十六年にこの大会が山形で開催され、女子単で初めて優勝。それから三年はファイナリストとして頑張り続け順調に走り続けていた私に、思わぬアクシデントが：前十字靭帯損傷半月板軟骨と毎年両膝の手術で苦しみ続け、それでも一度も休まずに参加し続けていました。二十一年の福島大会は術後三週間での大会に出場、それでもベスト8。今回の福岡大会は五月に靭帯損傷、走ることも縄跳びもできずフットワークすらできな

くて、半年間はコートサイドで見学。休むことも練習、とひたすら我慢の連続でした。大会二週間前に練習開始、私の復活を信じて練習できない間、メールでイメージトレーニングして精神的な支えとなり、コートに立てば最後まであきらめずに強い気持ちを持って一緒に戦ってくれた同様に「感謝」。術後、人前にも出るのが怖くて暗い生活をおくっていた私をそちこち旅行に誘ってくれて、明るい自分に戻れること、復活できることを願い続け、いつ会場で倒れても向かえに行けるようにと待機してくれてる家族に「感謝」。全国を行脚しながらこの全日本シニア大会に出場することは、私のバドミントン人生そのものだと思っています。初めて味

わったあの「感動」「戦える喜び・幸せ」が自分の中でいつも熱くあり続け、周りに「感謝」しながら、私なりのバドミントン道を究めたいと思っています。



大会を振り返って

(各監督から)

【第六十五回国民体育大会ゆめ半島千葉国体報告】

【成年男子】 監督 遠藤 保樹

選 手 伊藤 大、五十嵐 健、佐藤 祐樹

去る十月一日より開催された千葉国体に出場してきました。選手は学生二名と社会人一名の三名で、まとまって練習する時間が少ない中、県協会の協力の下、国体前に新潟県と宮城県に遠征を行い強化に努めました。初戦の相手は宮城県でナショナル選手もいる強豪県です。結果は一―二で惜しくも敗れました。たくさんの方より応援をいただいた中、残念な結果となりましたが試合内容は悪くなく、今ある実力は発揮出来たと思います。今後は学生や地元選手の、より一層の精進に期待し、二十三年も国体出場を目指したいと思います。

【少年男子】 監督 神保 一寿(米沢養護職員)

選 手 大山 琢也(山形南) 菊地 瞭良(長井工)

塚本 昌志(長井工)

私達四人は、ブロック予選を劇的な勝利で突破し、国体への切符をつかんだ後、十分なスケジュールをこなし、ピークパフォーマンスを千葉国体本番に持ち込むことになりました。私自身、大山琢也という選手がいることで自信があり、チーム自体もムードが良く、残すは勝利するだけとなりました。

しかし、初戦、東京都との対戦となり、〇―二のストリート負けとなり、国体ポイントを取ることが出来ませんでした。

ダブルス、シングルスともゲームの内容が良かっただけにとても悔しい思いをし、深く反省をしました。

今振り返っても悔しい思いです。三選手もそうだと思いますが、負けた事実をしっかり受け止め、今以上の努力をし、国体で山形県入賞を目指していきたいと思えます。今回少年男子チームをバックアップして下さった関係

者の方々大変ありがとうございました。

【第九回日本バドミントンジュニアグランプリ二〇二〇】

【男子】 監督 加藤 安史

昨年、男子がベスト8という輝かしい成績を残した本大会も、今年で第九回を数える大会となりました。今年も昨年に続けとばかりに、大山(山南高)以下十名を擁して臨みましたが、大阪府の「壁」に阻まれ、予選リーグ二位と決勝トーナメントには進めませんでした。しかしながら、渋谷(朝陽六小)をはじめ小・中学生の活躍はめざましく、全国レベルでも戦えるところまできている、という確かな手応えを感じた大会でした。

このことはこれまで、保護者の方々また各地区、各ジュニアクラブにおける指導者の方々の、地道にそして並々ならぬ熱意と惜しみない尽力の賜物であり、全国で活躍できるジュニア選手が育ちつつある証であると確信しました。今後とも更なるご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

【女子】 監督 青柳 壯彦

二年連続で予選リーグを突破し決勝トーナメントに進出しており、今年も目標をベスト8以上において試合に臨んできました。

岐阜県戦の第一試合で伊藤選手が幸先良く勝利しましたが、第二試合以降、競った試合を勝利につなげられない苦しい展開となり、一―四で敗れてしまいました。この悪い流れを断ち切れないまま愛媛県戦を迎え残念ながら敗れ、結果予選リーグ敗退となりました。どちらの試合も勝てる可能性がありながら敗れており大変悔しい大会となりました。監督として、選手が今まで以上に勝つことへの執念をもたせられたら結果は変わっていたと思えます。来年に向けて心・技・体全てにおいてレベルアップし目標であるベスト8以上を達成するべく日々の練習に励んでいきたいと思えます。

応援して頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

強化指定選手の活躍に向けて

山形県バドミントン協会 強化事務局 島 貫 祥 寿

「全国大会において優秀な成績を収めるため、強化指定選手として指定し、練習会等で競技力向上を図る」という趣旨のもと、平成二十二年年度の県強化指定選手が昨年十一月の県の強化委員会にて選考され、十二月から練習会を開始してきました。今年度は小・中・高から男子二十名、女子十九名が選ばれました。三月までに計七回の練習会が行われ、普段はライバルとして戦っている選手同士が、山形県を代表する選手団として自覚を持てる場であればよいという意識で、微力ながら強化事務局として指導者や選手をサポートしてきました。数少ない限られた練習会の中で大きく競技力を上げるのは難しく、やはり個々の力を伸ばす場は、それぞれが所属している普段のクラブや部活動に他なりません。強化練習会はその普段の練習のモチベーションを上げる場であってほしいと思います。毎日の地道な練習に勝る競技力の向上はないと思っております。常に高い意識を保つための練習会と、この冬場の地道な練習が、四月から始まる各大会での活躍に繋がることを期待しています。



また、年が明けてうれしいニュースがとびこんできました。鶴岡一中の澁谷勇希くんが、全日本ジュニアU16に選考されました。今後の活躍に期待したいと思います。

強化指定選手

男子 高校生	池田 智香(山形商業2年)
須藤 康大(山本学園2年)	伊藤 愛(山形商業2年)
小野 貴人(山本学園2年)	松澤美沙(鶴岡北1年)
鈴木 諒人(山形商業2年)	伊藤 実里(山形商業1年)
金子 直人(山本学園2年)	川越 愛奈(鶴岡北1年)
加藤 壮竜(山形商業1年)	中学生
田中 貴志(山本学園1年)	伊藤 由季(天童二中2年)
中学生	八木 瑞月(長井南中2年)
澁谷 勇希(鶴岡一中2年)	菅 夏澄(天童四中2年)
大原 尚弥(山形二中2年)	坂 望(山形三中2年)
伊藤 駿(天童二中2年)	青木 望(米沢六中2年)
鈴木 翔(天童二中2年)	伊藤 明帆(天童二中2年)
小野 文太(新庄中2年)	伊藤 千里(天童二中1年)
高橋 勇希(新庄中2年)	小学生
藤井 啓(天童二中2年)	伊藤 汐里(山口6年)
齋藤 輝(鶴岡三中1年)	村山 純華(山口6年)
藤 匠(天童四中1年)	伊藤 清華(山口6年)
本間 稜人(鶴岡一中1年)	小関 杏奈(天童市5年)
小学生	
澁谷 光希(鶴岡JBC6年)	
大島 千聖(山口6年)	
鈴木 遊(山口6年)	
小野 優真(鶴岡JBC5年)	
女子 高校生	
齋藤真優子(山形商業2年)	
秋庭みのり(鶴岡北2年)	



各地区の活動だより

山形

新庄

米沢

山形地区

山形地区協会の活動について

広報委員長 鶴 浦 啓

今年度も「国体・東北総体地区予選（五月）」、「でん六杯ミックス大会（七月）」、「ラケットショップ杯中学生大会（八月）」、「市民総合大会（十月）」、「職場社会人大会（十二月）」、「村山地区高校生大会（二月）」、「ジャワ杯中学生大会（二月）」、「地区総合選手権大会（三月）」といった様々な定例会の運営を行ったほか、ジュニア育成、高校生の強化に力を入れて活動しました。地区協会の関連連盟として中体連、高体連のほか、シニア連盟、レディース連盟など様々な関連連盟がありますが、今年度三十周年を迎えた山形地区実業団バドミントン連盟の活動についてもご紹介します。

山形地区実業団バドミントン連盟では、毎年十二月～三月にかけてリーグ戦を行っています。今年は二十事業所と地区協会から合計四十六チームの参加がありました。一部～六部までは七チーム構成でのリーグ戦。それぞれ三複二単の団体戦で勝敗を決めて、成績次第で、次年度に各部の入れ替えがあります。オープンには二複一単のリーグ戦が行われます。和気藹々とした雰囲気です。各事業所の交流が図れる大会です。今年度は三十周年ということもあって、十一月に記念大会（個人戦）や祝賀パーティーなどがあり、事務局のアイジー工業（株）さんには感謝感謝です。



新庄地区

新庄地区バドミントン協会の今後の活動について

事務局長 斎藤 和彦

当地区でも、バドミントン人口が年々減少傾向にある状況ですが、ジュニア層を中心に育成強化を進めております。また、新庄市総合型地域スポーツクラブと連携し、社会体育、生涯スポーツや競技スポーツの両面にわたり、バドミントン人口増に向け各種事業を進めております。数年前より強化事業に力を入れ、県大会、東北大会、全国大会での上位入賞者を輩出するため、強化部を中心に練習会等を行っているところであります。また、地区大会、県大会をスムーズに運営するため、人材の育成や、審判員（一級）の資格修得など、少しずつ積み重ねているところであります。魅力ある協会にするため、問題を整理し、改革をしながら今現在組織の強化も図っています。県協会と連携をはかり円滑に事業を進められるように、今後一層協会役員、会員一同で努力してまいります。

毎年秋に当地区で行われている、山形県愛好者バドミントン大会も各地区のバドミントン愛好者のご協力により毎回盛大に行われています。この大会を当協会の宝物・財産とし今後も絶やすことなく継続し、皆様方より喜ばれる大会・運営を行って参りたいと考えております。皆様、多数の参加をお待ちしております。



米沢地区

米沢バドミントン協会の活動について

広報委員長 登坂 雅彦

十一月六日に米沢バドミントン協会の六十周年にあたり、ナイターバドミントンの閉会式と合わせ、ささやかに記念式典を行いました。鹿野会長の挨拶をはじめ、後藤源顧問からお祝いの言葉を頂き、尾形前副会長の功労賞授与式をとりおこないました。その後ナイターバドミントンの閉会式表彰式があり出席者が楽しく懇談しました。

米沢バドミントン協会は委員会制を取っており指導普及委員会・審判委員会・強化委員会・高体連委員会・広報委員会また大会ごとに社会人委員会・愛好者委員会・ナイターリーグ委員会・県関連委員会となっております。役員数も総勢約八十名で各委員会がそれぞれまとまって運営にあたっています。いざ大きな大会等があれば役員がまとまって運営に協力しております。

指導普及委員会は講習会・練習会等年三十回以上行っています。審判委員会は公認審判員の検定会を始め、各大会への審判派遣を行っています。強化委員会は小学生・中学生・高校生の強化、レベル向上に毎週のように事業を行っています。高体連委員会は高校生の大会を中心に講習会・練習会を地区全体で行っています。広報委員会は公報の発行・ホームページの運営を行っています。

大会関係の委員会はそれぞれ春一番ミックスダブルス大会・置賜地区社会人バドミントン大会・米沢愛好者選手権大会・CDクラス愛好者ダブルス選手権大会・ナイターバドミントンリーグ・OKITAMA OPE N・国体予選・置賜選手権の各大会をスムーズに運営しており、会長はじめ理事長・事務局にて全体を見ながら運営しています。



各地区の活動だより

鶴岡 酒田

鶴岡地区

…新雪 深雪… 新春会長杯

広報部長 勝 木 章 子

試合が終わると、車はドアまで雪で埋もれていました。二十年前、関東から移り住んだ私にとって、この厳冬期に行われる「新春会長杯」なるものは、まさに鶴岡のバドミントン界の狂気？を物語るものと思えませんでした。正月三日の翌日開催…という年もありました。そんな私も、参加者最年長としての記録を塗り替えながら毎年、若者のエネルギーを貰いに、出掛けて行くのです。今年も男女シングルス・ダブルス延べ二二八名の参加でした。

スポーツの全国準優勝で大活躍の小学生から、地区ベスト8の中学生。高校生に大学生。実業団も主婦も全く関係なく、渾然一体となつてのプレーが展開されます。トーナメント戦ですから、「一発負け！」は、覚悟の上での参加ですが、勝ち進んで行く為には、寒さ対策や体力の消耗を抑える配慮も必要です。昨年の女子シングルの優勝者は、高校生でした。技術、だけでは乗り越えられない、冬の魔物がいるのかもしれない。

隣のコートでは、全日本ランキングに載っている選手のプレーが、自分のゲームと同時に進行されています。そりゃ勿論ゲーム展開は雲泥の差ですが、自分の姿と重ね合わせてみることもできます。「いつかは、あんなプレーを…」

日々これ精進精進。



試合の合間にホット一息
全国大会準優勝の小学生
澁谷君と小野君

酒田地区

「実業団北都銀行バドミントン部 酒田に来る！」

理事長 浅 野 隆

昨年、夏の猛暑（七月）の中、三時間に亘り、実業団北都銀行バドミントン部（原田監督以下十三名）を招いてのバドミントン教室（県協会主催）が酒田勤労者体育センターで開催された。

参加者は、小・中・高校生合わせ約五十名、一般約三十名の総勢八十数名となり、予想以上の参加者に関係者一同、胸を撫で下ろした。

開催にあたり県バドミントン協会米山理事長より、「県内でもバドミントン人口が一番少ない酒田では、実業団一流選手による教室の機会も少ないと思う。バドミントン普及・活性化のためにも今回の教室は絶対の機会でもある。是非、指導を頂くと共に選手達のプレーを参考に少しでも自分のプレーに活かして欲しい。」との挨拶を頂いた。

早速、小中高生と一般に別れ教室が始まった。館内の温度は三十度を超え、茹だるような暑さの中、参加者は監督・選手の指導に真剣に耳を傾け暑さを忘れ夢中になってプレーに集中していた。時間が経つにつれ、掛け声も大きくなり異様なまでの活気に溢れ、参加者は監督・選手達に完全に飲み込まれた状況であった。

休憩中には、原田監督の名会話が飛び出し、また最後には原田監督の気遣いにより、質問の時間を設けて頂き、当然のように参加者・主催者一同、大好評の中で、三時間の教室を終えた。なお、原田監督とは次回の開催も約束させて頂いたのだが…。

今回のバドミントン教室は盛会に終わることができ、米山理事長、そして、原田監督を始め北都銀行バドミントン部選手の方々に感謝すると共に酒田地区のバドミントンが今後益々の活性化を期待したい。



委員会報告

競技委員会つて、何してるの？ Part II

競技委員長 丸山勝美

競技委員会の業務について、今回は一般的な運営に係る日程を紹介します。各地区においても、全国につながる一種大会の予選会をはじめ、ローカル大会も開催されており、それぞれの大会においても役員が中心となり準備が進められていると思います。

そうした大会の運営に携わる役員も仕事をしながら進めており、担当役員だけでなく業務を分担・補完しながら下記日程を参考に大会準備をスムーズに進めて、競技者が気持ちよくプレー出来るよう運営していただきたいと思っています。

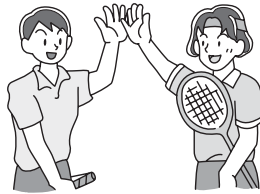
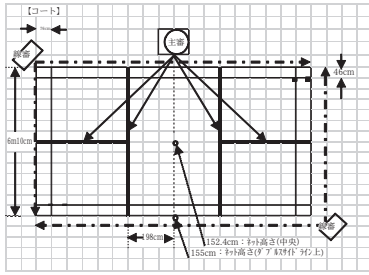
なお、一種大会ではデビュティレフェリーに一級審判員の配置が求められていますので、資格者の確保についても御協力をお願いいたします。

※大会が開催されるまでの標準的日程

- 前年度二月………大会日程・会場の決定
- 大会二ヶ月前………大会要項の作成・発送
- 一ヶ月前………参加申し込みの受付
- 二〜三週間前………組合せ会議
- 二週間前………プログラムの作成・印刷
- 大会当日………監督・代表者会議、試合開始

なるべくタイムリーに…大会結果の作成・ホームページ掲載

知ってますか？ 大会会場の設定と主審、線審の担当ライン



競技委員会／審判委員会／指導普及委員会／事業委員会

審判委員会の「ジャッジ」

審判委員長 皆川芳久

今年の県協会広報誌では、県内バドミントン大会開催者及び指導者向けに数点ですがルールについての確認をしたいと思います。

まず、初めにバドミントン用語の中で一番多く間違っている言葉の「ゲーム」という用語を取り上げます。

皆さんも無意識のうちに使う言葉で「セット」という言葉をプレー中に耳にすることが多いと思いますが、ルールブックの中には「セット」という言葉は有りません。全て「ゲーム」と言います。過去に「セット」という言葉を使っていた時代も有ったようですが、現在のルール上は「ゲーム」と言いますので正しい言葉を覚えていただきたいと思っています。

次に線審についてですが、県内で行われている大抵の大会は日本協会ルールの他に大会ルールと言いますが、主審の他、線審二名で試合が進行されると思えますが、正式には線審十名又は四名となっております。どうしても線審人数が足りない中で大会運営をしなければならぬのは現実ですが、第一種大会の県予選は線審四名体制を基本に考えて欲しいものです。ちなみに、線審を「ラインジャッジ」と呼びます。いまだに旧用語「ラインズマン」とお呼びの方もおりますので正しく覚えて欲しいと思います。

三つ目として、「コート設定の変更」についてです。大会を開催するときにシングルスラインだけのシングルス専用コートを設定することはルール上認められています。ダブルス専用コートを設定することは認められていませんので、大会開催時はご注意くださいと思います。今後機会があれば県内のバドミントン関係者を知っていたら、審判用語やルールを伝えていきたいと思っています。今年も県協会審判委員会はレベルの高い審判活動を推進してまいりますので、御協力よろしくお願います。

指導普及委員会の取り組みについて

指導普及委員長 伊藤洋一

指導普及委員会では、NTT東日本様のご協力で開催しております「NTT東日本バドミントン講習会」、高校生からはじめた生徒を対象とした「山形県高校生あすなろ大会」の運営支援を事業委員会と共同で行なっております。「あすなろ大会」に参加した生徒からは、「スポ少から始めてきた選手になかなか勝てなかった。あすなろ大会があることを知り頑張った。勝てなかったが目標になり、充実した部活になった。」というコメントをいただきました。大変意義ある大会であると感じております。中学生、高校生の部活は、経験者と未経験者が混在しており、未経験者の活躍の場が少ない環境にあります。そんな中でこのような大会が、やる気を振り起こし、バドミントンの普及、そして強化へとつながっていくものと思います。本県のバドミントンの競技力は、べにはな国体を境に急激に低下してしまいましたが、ここ数年、長年取り組んできていたジュニアの強化が芽をだし始め、本県ジュニアの活躍には目覚ましいものがあります。そして、昨年、十二月に開催されました、第十九回全国小学生バドミントン選手権大会におきまして、本県代表の男子チームが団体で準優勝を成し遂げました。これも偏に関係各位のたゆまぬ努力の積み上げが結果、この結果をもたらしたもので、ご尽力に対し深く敬意を表する所です。指導普及委員会では、次年度も引き続き講習会、大会の運営支援を実施するなど、ジュニアの育成、強化のお手伝いをさせていただきます。

事業委員会の取り組み

事業委員長 荒井 謙治

事業委員会の取り組みでは、今年度もNTT東日本さんの講習会への協力と高校生からバドミントンを始めた学生を対象に開催している「あすなろ大会」の運営があげられます。高校からの始めても努力次第でレギュラー入りも夢でなくそうしたバドミントンプレイヤーの励みとなっています。来年度は、全日本教職員大会も開催され、全国から多数の選手が来県しますので、大会開催に向け、運営、審判の他、広告への関係各位の御理解についてもお願いいたします。

連盟報告

高等学校体育連盟バドミントン山形県中学校体育連盟専門部／実業団連盟／シニア連盟／レディース連盟

高等学校体育連盟バドミントン専門部

専門委員長 大山孝光

中学校体育連盟バドミントン専門部

専門委員長 那須勲

実業団連盟

会長 真田昭良

シニアバドミントン連盟

会長 武田藤一郎

本年度は単独県開催としては最後となる沖縄インターハイがあり、本県代表として男子・山形南高と女子・山形城北高が学校対抗戦に臨みました。個人戦では男子単で大山琢也選手（山南三年）、女子複で原茜・菅原沙織組（城北三年）が気を吐き、入賞へあと一步のところまで奮闘いたしました。

さて、インターハイは今後ブロック単位の開催へと移行します。二十三年度は北東北三県開催で準備が進められており、バドミントンは弘前市を会場として実施します。今後審判派遣等様々な協力要請があるものと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

次に東北ブロックが輪番となる二十九年度は、山形県を主会場とする南東北三県開催で調整が進んでいます。専門部では山形市を会場候補地として、バドミントン競技開催に立候補しております。開催地は今後の調整に委ねられますが、実現すれば昭和四十七年以來およそ半世紀ぶりに地元開催の運びとなります。今後関係機関と連携しながら、本県バドミントン界の活性化に向けた起爆剤として位置づけ、強化を進めて参りたいと思っております。

県中体連専門部では、競技普及と、より多くの中学生が、東北・全国大会へと駒を進めてくれることを願って、活動しています。県選抜での年二回の強化練習がメインとなりますが、七月の東北中総体出場者を対象にした強化合宿では、例年田川地区の先生と協会の方々からご尽力を頂いています。競技力向上の為にもちろんですが、県中総体までのライバル関係から、チーム山形としての側面を育てる大切な機会となっております。十一月の福島県選抜選手を招いての強化練習会も第三回を数え、他県選手のプレーを知り学び、成長の糸口にしてもらえればと思います。平成二十三年度は、本県小真木原体育館を会場に東北中総体が開催されます。個人ダブルスの全国切符も一つ増える本年、県勢が青森・福島・宮城の上位選手を打ち破って、くれることを期待しています。



県実業団連盟は、二十年前の八事業所をピークに減少を続け、二十二年度は二事業所となっております。

当時は、全国大会へも六チームが参加し、ベスト16に二チームも入る快挙の時期もあつた。さらに、三十年前にはベスト8（五位入賞）のチームも出たほどである。確かに、二十年前といえばバブル絶頂期で会社からの援助、職場の人達の協力があつたことから大会への参加があまり負担にならなかつたかもしれない。現在は、県大会は開かれず、東北大会への参加も一チームという状況である。東北大会でも女子の参加が無く、男子においても十二、十三チームの参加にとどまっている状態であり、東北実業団連盟でも大会の日程・チーム編成・方式を検討し参加チームの増加を模索しているところである。

実業団のチームが東北・全国で活躍することは、今、県内で頑張っているジュニアの選手、そしてその保護者の方達にとつては大変心強いことと思う。

山形地区においては、毎年、実業団大会が開催され、そこには多数のチームが参加されており、大盛況との話をお聞きする。是非、そのチームの方々に実業団連盟加盟をお願いし、県大会の開催、東北大会・全国大会へ参加し、山形県のバドミントン普及、さらにはジュニア層からの競技力向上を一緒に目指して見ませんか。

シニア連盟の設立の経過と活動について、御紹介いたします。

山形県シニアバドミントン連盟の設立の大きな契機となつたのが、東北シニア大会は、第一回から第五回まで大和町で開催されてきましたが、第六回から東北各県の持ち回りとなり、その六回目が山形県開催となりました。

その当時、県内の五地区（山形・米沢・新庄・酒田・鶴岡）にはシニア連盟の組織がありませんでした。そのため、関係者のご理解のもと組織作りに取り組み、現在では県組織の他、地区のシニアバドミントン連盟が県内全地区に組織されています。

山形県シニアバドミントン競技大会の開催も、ジャワ商会様のご理解をいただき「ジャワ杯」として各地区持ち回りで二順目となり今年酒田地区開催の予定です。

また、東北シニアバドミントン競技大会（個人戦）の開催が東北各地区持ち回りの二巡目となり平成二十三年度は山形県開催となっております。期日は五月二十一日、二十二日に山形市総合スポーツセンター第一体育館の予定で鋭意準備しておりますので県内シニアの皆様多数の御参加をお待ちしております。

さらに、東北大会シニアバドミントン競技大会（団体戦）が仙台市体育館で十月一日、二日で予定されておりますのでこちらの大会にも多数参加されますよう日程の調整をお願いいたします。

一人はみんなのために、みんなは一人のためにのスローガンのもと、東北各県のシニア仲間皆様や県内各地区のシニア仲間の皆様と交流を深め合いバドミントンを楽しみ、健康でいきいきと暮らしたいものです。

レディーズ連盟ついに、 全国レベルに到達！

県レディーズ連盟会長 **柴田 美恵子**

二十二年度の全国大会は、隣県の宮城県仙台市で七月二十九日(木)～八月一日(日)の期間開催されました。その中で、一部の都道府県チームは、リーグ戦一位で予選を通過し、トーナメント戦では、宮城県と対戦し、おしくも破れはしたものの、ベスト16という好成績を収めました。まさに、ベンチと沢山の応援の観覧席が一体となった大会でした。

次に、東北地区大会は、青森県弘前市で十月三十日(土)、三十一日(日)の二日間行われ、県代表として一部の米沢アイリスチームが、予選を一位通過し決勝では、余裕の優勝となりました。全国大会に続き、勢いに乗った東北地区大会での優勝ということで、本年度は本当に輝かしい年になりました。二十年度より、全国レベルに肩を並べる為、強化部を中心に、強化練習及び練習会を増やした成果が意外にも早く出たのではないかと思っています。何よりも、代表選手が上位を目指したいという強い意識と、県レディーズ連盟にご協力いただきました皆様の後押しがあった結果だと深く感謝するばかりです。二十四年度には、東北地区大会が、山形県開催となります。今年度の好成績をバネに、地元開催に備えられればと、今から待ち遠しいと思います。



クラブ名 血みどろ

代表 **松田 奈緒子**

私たちのチーム名に「何それ？」と思う人が多いとは思いますが、良く言えば一生懸命？あまり意味はありません(笑)。でもこの名のお陰で知名度はB級の存在にはなったでしょうか。きっかけは十三年くらい前、新庄市体育館の個人使用が二十二時までに延長され初心者男子数名がダイエットの為に始めました。二十二時まで使えるとなると人が人を呼び、今では毎週木曜日二十～四十五歳まで、約十五名が集まり三時間の練習を楽しんでいます。なぜか飲み会専門部員もいて遠くは福島からの参加もあつたりします。部費は一回五〇〇円。新庄に短期出張などでお越しの際は、血みどろに混ざってける！



あつまれバド仲間

クラブ名 「ヴィーナナス」 「あすなるクラブ」

代表 **佐藤 美代子**

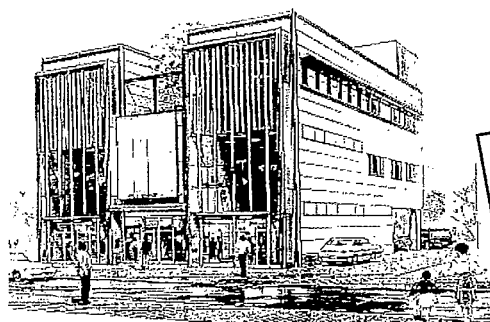
クラブを結成して、十五年が過ぎました。私が山形に転勤してきて自分の練習場所・居場所が欲しくて仲間を集めたのがきっかけです。ヴィーナナスはレディーズの大会に出場するための女性だけのサークル、あすなるクラブは男性女性に関わらず、一般のサークル。名称は違ってもみんな一緒に練習場所を活動しています。

第一過渡期は目的が強いチーム作り、ノックをしたりトレーニングをしたり、自分自身も大きな大会を目指していたので、練習回数も多く一番頑張っていた時期かと思っています。

第二過渡期は、目的の違う人達はやめていき、クラブも新しい方向に向かうことになり、改めて一般のサークルのあり方を考えさせられる時期でした。

今は第三過渡期を向かえています。週に一度練習できるか分からない人達、仕事も育児も皆めいっぱいがんばっている人達、目的はそれぞれ違っていても、バドミントンを通して同じ時間を共有し、スポーツマンとして人間として切磋琢磨し、周りを思いやる優しさにあふれたそんな癒しの場となっています。地元の方、県外選手、海外の方、転勤族と総合的なサークルとなっていますので、皆さんと会話を楽しみながら、バドミントンを楽しみたい方をお待ちしています。指導者もたくさん来ていますので技術力の向上を目指したい方も一度おいでください。転動して山形を離れても、時々思いだしてもらえようそんなあったかいサークル作りを目指しています。

広い店舗と豊富な品ぞろえ
専門スタッフのアドバイスで
たのしいショッピング



駐車場
完備

Java Sports



ジャワスポーツ

山形市六日町7-28
☎023-633-0333

「山形県教育功労者表彰を受賞して」

県ジュニアバドミントン育成会会長 山口 良典

「ご無沙汰いたしております。この度「山形県教育功労者表彰」を昨年十一月に受賞させていただきました。

受賞理由として、県バドミントン界の振興、県内企業スポーツの振興、県内スポーツ界全般への貢献ということでございます。

本年一月十九日山形グランドホテルにおきまして、山形県バドミントン協会会長の金森義弘様より発起人代表でのご挨拶をいただき、山形県企業スポーツ振興協議会や県内各地の県スポーツ界及びバドミントン関係者多数の皆様からご出席を賜わり、「祝賀会」を盛大に開催していただきました。

ご来賓の山形市長市川昭男様と株式会社でん六社長鈴木隆一様からは身に余るお言葉のご祝辞を賜わり、光栄の至りでございます。

仕事にスポーツに早や半世紀以上になります。これもひとえに協会の皆様のご支援と勤務先であります株式会社でん六の全面的バックアップがあったることとっております。特に、県協会の皆様にはでん六男・女バドミントン部に対して、強化にあたり大変なご指導をいただいております。

いつも感じておりますことに、私以上に仕事を一生懸命やりながらスポーツボランティアをやって頑張っていた

だいておりますバドミントン関係の皆様には、敬意と感謝を申し上げます。

小生も今までバドミントン協会では、色々なお仕事をさせていただきました。例えば、県バド協会副会長や県実業団連盟会長などは、ほとんど若い方に立派に引きついでいただいておりますが、県バドジュニア育成会の会長だけは、もつとやれと言われております。バドミントンの選手を日本のトップアスリートにするには、ジュニアの強化をもつともつと充実していかなければなりません。お陰様で皆様から育成会に、毎年貴重な浄財をご支援いただいております。

そして、本年、全国小学生選手権大会で山形県チームが「団体準優勝」の快挙を成し遂げてくれました。史上初のことです。これも偏に選手達の頑張りはもちろんですが、県小学生バド連盟のご尽力が実を結び、また長年にわたり育成会に対する皆様からのご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

「受賞祝賀会」でのご祝意に対し、心からの御礼を申し上げますとともにジュニアバドへの益々のご理解、ご協力とご支援をお願い申し上げます。県バドミントン界が益々ご発展されますことを祈念いたしまして御礼とさせていただきます。



おいしさ 十種 といみ

味のり

おいしさ極めた 大人のおつまみ

でん六 DENROKU

株式会社でん六
山形市海蔵町3丁目2-45 〒990-8508
TEL (023) 644-4422
でん六ホームページ <http://www.denroku.co.jp>

NTT山形バドミントン講習会

二〇一一年二月十二日(土)に山形県体育館において、NTT東日本バドミントン教室が開催されました。当日は、小・中・高生約二〇〇名が参加しNTT東日本の選手と一緒に汗を流しました。

参加者は班編成ののち、楽しく練習に取り組めるよう遊びの要素を取り入れたトレーニングや一般的なトレーニング、フットワークやパターン練習、選手相手のゲーム練習やNTT東日本の選手による模範試合など、日ごろテレビや専門誌で見える事が出来ない選手に接し充実した一日を送ることが出来ました。

今回は、NTT東日本柳谷総監督から講習会を開催して、山形県の選手や指導者に向けてのアドバイスを頂きましたので、その内容を紹介します。

○今回受講した選手達の印象はいかがでしたか？

小学生を中心に元気がよく、特に男子の元気が良かった。この中から将来、山形県をしょって立つ選手も出てくることだろうと思います。楽しみです。

○各地で講習会を開催しておられますが、他県の選手と比較しての印象は？

女性陣がちよっとおとなしめで、プレー面でもそうだがもっと積極性を出してもいいと思います。

○山形県の指導者へのアドバイスをお願いします。

選手達にはラリーを我慢して続けられるようになってもらいたいと思います。ミスをしたことを重視して、緻密なプレーができるよう指導をお願いしたいと思います。

○最後に山形県の選手・スタッフにメッセージをお願いします。

地方にいるというコンプレックスを持つ必要はありません。全国大会等の大きな舞台(夢)の勝利を目指して、これからも練習をがんばってください。(取材 横山・山川)



第三回山形県高校生あすなるバドミントン大会

高校からラケットを握った生徒に出場資格を限定し、切磋琢磨の機会を作ること目的に平成二十年度から始められたこの大会も、三回目を数えます。今年も二月十三日に山形県体育館で開催され、熱い戦いが繰り広げられました。

【優勝選手インタビュー】

男子ダブルス 東海大山形高校 青柳 孝佑、奈良崎 凌

①青柳 孝佑

経験者との試合を積み重ねて、少しずつ力をつけることができました。小学校からの親友が応援に来てくれる試合はいつも入賞していて、今回も応援に来てくれました。彼は他校の野球部なのですが、自分の心の支えです。これからは、お互いに励ましあつてがんばっていききたいです。

②奈良崎 凌

昨年は2位だったので、優勝できてうれしいです。2人で、ミスなしでいこう！と打合せをしました。声を出して、気合いを入れてがんばりました。

女子ダブルス 鶴岡南高校 鈴木 眞央、田村 愛美里

①田村 愛美里

これからはサーブのバリエーションを増やしていきたいです。

②鈴木 眞央

まだまだ課題はありますが、優勝できてうれしいです。これからはレシーブ力をアップしたいと思います。

男子シングルス 長井高校 安部 遼平

高校から始めたので、優勝できてうれしいです。

今回の大会では、厳しい姿勢からのスマッシュも決めることができましたと思います。

女子シングルス 九里学園 佐藤 緩奈

これまで指導してくれたコーチに、恩返しが出来てうれしいです。コーチには、精神的にも支えてもらいました。これからは県レベルの大会にも挑戦したいです。

優勝選手の皆さんは、とても素敵な笑顔でインタビューに応じてくれました。「周りの方の支えに、感謝しています」との言葉がとても印象的でした。

これからの活躍を期待しています。(取材 金子)



T'SPORT

タカハシスポーツ

ジャストフィット宣言

スポーツギアは、人が使ってはじめて威力を発揮するもので、それ自体では何の役にも立ちません。人が使うことによって力を出すものだからこそ、ピッタリのモノを選んでさしあげるべきだと思います。

T'SPORTは、頑張るバドミントン選手の応援団！

〒996-0071 新庄市小田島町2-56
TEL 0233-22-0377 FAX 22-0357

是非一度アクセスして下さい！
<http://www.sports-nakama.com/tsport>
e-mail taka-sp@mvd.biglobe.ne.jp

バドミントンプラザ

アサ 麻 ヤ 屋

山形県米沢市門東町1-2-64

TEL 0238-23-1196 FAX 0238-23-1138

ガット張り即日致します (予約優先制)

090-8616-1196 (予約用)



県大会

全日本レディース選手権大会 山形県予選会

(2010・4・11 山形県体育館)

30代

一位 高野 朋 (米沢)・沼澤さゆり (新庄)

二位 清野 育子 (米沢)・松田真里子 (米沢)

三位 安孫子博美 (山形)・小林 朱 (鶴岡)

40代

一位 板垣 尚美 (新庄)・沼澤真理子 (新庄)

二位 笹原 智江 (山形)・金子ひろみ (山形)

三位 東海林直美 (山形)・沼沢 宏子 (山形)

50代

一位 佐藤美代子 (山形)・柴田美恵子 (新庄)

二位 佐藤 典子 (米沢)・鈴木恵美子 (米沢)

三位 阿部 順子 (山形)・沼澤裕美子 (山形)

クラブ対抗

一位 クイーンクラブ

二位 マリーゴールド

三位 霞城の友

山形県高校春季選手権大会

(2010・4・17 山形県体育館)

男子ダブルス

一位 大山 琢也・黒坂 隼斗 (山形南高)

二位 塚本 昌志・菊地 瞭良 (長井工業高)

三位 高橋 諒・高橋 航太 (山本学園高)

男子シングルス

一位 大山 琢也 (山形南高)

二位 菊地 瞭良 (長井工業高)

三位 志藤 和樹 (鶴岡工業高)

女子ダブルス

一位 原 茜・菅原 沙織 (山形城北高)

二位 鈴木 祭・小関真莉菜 (山本学園高)

三位 吉田 美玖・天野 結衣 (山形城北高)

女子シングルス

一位 原 茜 (山形城北高)

二位 齊藤真優子 (山形商業高)

三位 秋庭みのり (鶴岡北高)

小野 愛 (山本学園高)

県総合選手権

(2010・4・29 小真木原総合運動公園)

男子ダブルス

一位 原田 雄基・奥山 昇

(山形市総合スポーツセンター/鶴岡協会)
二位 大山 琢也・黒坂 隼斗 (山形南高)
三位 野尻 光・五十嵐 健

男子シングルス

一位 野尻 光 (でん六)

二位 大山 琢也 (山形南高)

三位 三浦 貴大 (オリエンタルモーター)

女子ダブルス

一位 鈴木 花織・佐藤 茜 (でん六)

二位 小野塚麻理・齊藤真優子 (山形商業)

三位 清嶋 夏希・井上 京子 (鶴岡市農業協同組合/荘内看護学校)

女子シングルス

一位 高橋 麻耶 (東北福祉大学)

二位 齊藤真優子 (山形商業)

三位 鈴木 花織 (でん六)

ABC小学生バドミントン大会山形県予選会

(2010・4・29 山形県体育館)

男子単Aクラス

一位 渋谷 光希 (鶴岡JBC)

二位 大島 千聖 (山口)

三位 鈴木 遊 (山口)

小野 優真 (鶴岡JBC)

二位 本岡 暉人 (鶴岡JBC)

二位 赤木 優佑 (米沢南)

女子単Aクラス

一位 伊藤 汐里 (山口)

二位 石澤 更紗 (上山Jr)

三位 船橋奈津実 (上山)

村山 可純 (山口)

女子単Bクラス

一位 大沼友里愛 (山口)

二位 遠藤 育帆 (南部シャトル)

女子単Cクラス

一位 大竹真夏果 (上山Jr)

二位 岩田 祐依 (南部シャトル)

三位 梅津 茉那 (長井JSC)

第6回高橋杯レディースバドミントン大会

(2010・5・16 山形県体育館)

Aブロック

一位 有路みゆき・今野奈津子 (クイーン)

二位 伊藤奈津江・石川 樹里 (クイーン)

三位 清野 育子・近 亜希子 (米沢アイリス)

Bブロック

一位 竹澤 知華・磯谷 仁見 (ももぐみ)

二位 鈴木恵美子・佐藤 典子 (米沢アイリス)

三位 碓屋 真理・小條 直美 (ももぐみ)

Cブロック

一位 永岡 秀子・須藤 澄子 (マリーゴールド)

二位 会田 直子・近藤 瑞穂 (ZAOフランス)

三位 中村 秀子・須貝とみ子 (FMC)

若葉カップ全国小学生バドミントン大会山形県予選会
(2010・5・30 山形県体育館)

男子

一位 鶴岡ジュニアバドミントンクラブ

二位 米沢南部ジュニアバドミントンクラブ

三位 長井バドミントンJ・S・C

女子

一位 山口バドミントンスポーツ少年団

二位 天童市バドミントンスポーツ少年団

三位 上山ジュニアバドミントンスポーツ少年団

ふじかけバドミントンスポーツ少年団

山形県高校総体

(2010・6・4・6 米沢市体育館・米沢工業高校)

男子団体

一位 山形南

二位 山本学園

三位 山形商業・鶴岡工業

女子団体

一位 山形城北

二位 山形商業

三位 鶴岡北・山本学園

男子ダブルス

一位 大山 琢也・黒坂 隼斗 (山形南)

二位 高橋 諒・高橋 航太 (山本学園)

三位 牧野 達也・加藤 壯竜 (山形商業)

菊地 瞭良・塚本 昌志 (長井工業)

男子シングルス

一位 大山 琢也 (山形南)

二位 菊地 瞭良 (長井工業)

三位 塚本 昌志 (長井工業)

牧野 達也 (山形商業)

女子ダブルス

一位 原 茜・菅原 沙織 (山形城北)

二位 鈴木 祭・小関真莉菜 (山本学園)

三位 小野塚麻理・齊藤真優子 (山形商業)

吉田 未玖・天野 結衣 (山形城北)

女子シングルス

一位 清和真理子 (羽黒)

二位 小野 愛 (山本学園)

三位 原 茜 (山形城北)

齊藤真優子 (山形商業)

山形県高校定時制通信制大会

(2010・6・19・20 酒田団地記念体育館)

男子団体

一位 霞城学園Ⅳ

二位 霞城学園Ⅲ

三位 霞城学園Ⅰ・鶴岡工業

女子団体

一位 新庄北

二位 霞城学園Ⅳ・鶴岡工業

男子ダブルス

一位 加藤 翔悟・小松 祐貴 (霞城Ⅲ)

二位 佐藤 満・笹 脩平 (霞城Ⅳ)

ヨネックス STB (高機能アンダーウェア) 取扱店
コアバランス (体幹) を整え、完璧な身体を作り、ライバルに完全勝利!

あなたの『ガンバリ!』応援します

プロストリンガーのいる店



皆川スポーツ

鶴岡市本町一丁目9-14 (銀座通り) TEL0235-22-0244

- 三位 久保田利貴・佐藤 宗 (霞城一)
- 二位 上林 秀樹・齋藤 拓 (鶴岡工業)

- 男子シングルス
- 一位 小松 佑貴 (霞城Ⅲ)
- 二位 佐藤 満 (霞城Ⅳ)
- 三位 笹 脩平 (霞城Ⅳ)
- 加藤 翔悟 (霞城Ⅲ)

- 女子ダブルス
- 一位 橋本絵利菜・高橋 唯 (鶴岡工業)
- 二位 星 恵子・柴田乃里子 (新庄北)
- 三位 佐藤 来美・鈴木恵梨奈 (霞城Ⅲ)
- 伊藤 千晃・山田 由香 (霞城一)

- 女子シングルス
- 一位 鈴木 里歩 (霞城Ⅳ)
- 二位 星 恵子 (新庄北)
- 三位 柴田乃里子 (新庄北)
- 樹川 奈美 (酒田商)

国民体育大会兼東北選手権大会予選会
(2010・7・9～11 山形県総合運動公園)

- 少年男子ダブルス
- 一位 高橋 諒・高橋 航太 (山本学園)
- 二位 小野 貴人・小野 秀彰 (山本学園)
- 三位 塚本 昌志・菊地 瞭良 (長井工業)

- 少年男子シングルス
- 一位 大山 琢也 (山形南高)
- 二位 菊地 瞭良 (長井工業)
- 三位 塚本 昌志 (長井工業)

- 青年男子ダブルス
- 一位 佐藤 祐樹・市村 涉 (敬和学園大学)
- 二位 伊藤 輝・齋藤 俊平 (神奈川大学/明治大学)
- 三位 野尻 光・五十嵐 健 (株でん六/埼玉大学)

- 青年男子シングルス
- 一位 伊藤 大 (山形市総合スポーツセンター)
- 二位 五十嵐 健 (埼玉大学)
- 三位 今野 隆史 (庄内地区健康管理センター)

- 30代男子ダブルス
- 一位 遠藤 保樹・高橋 俊満 (鶴岡市シルバー人材センター/神保年自然の家)
- 二位 嵐田 芳輝・青柳 壮彦 (株でん六/相模鉄道/シヨップ山形)
- 三位 神保 一寿・近藤 洋一 (米沢養護学校職員/ナノトップ)

- 30代男子シングルス
- 一位 遠藤 保樹 (鶴岡市シルバー人材センター)
- 二位 石沢 良則 (松風園)
- 三位 神保 一寿 (米沢養護学校職員)

- 40代男子ダブルス
- 一位 加藤 安史・長谷川典靖 (下「モ東北」/株でん六)
- 二位 安孫子啓一・西川 幸一 (山形地区協会/株損害保険リサーチ)
- 三位 齋藤 和彦・中島 聡明 (新庄市役所/東北電気保安協会)

- 40代男子シングルス
- 一位 加藤 安史 (ドコモ東北)
- 二位 小野嶋義昭 (松皆塾)
- 三位 西川 幸一 (株損害保険リサーチ)

- 50代男子ダブルス
- 一位 小関 勝也・丸山 勝美 (小関カイロプラクティック/鶴岡市役所)
- 二位 岡田 寿紀・金沢 英次 (N-T東日本/JA山形)
- 三位 吉村 重・加藤 岳 (キャンディーブルー)

- 少年女子ダブルス
- 一位 原 茜・菅原 沙織 (山形城北高)
- 二位 鈴木 祭・小関真莉菜 (山本学園)
- 三位 吉田 早希・加賀 千尋 (山本学園)

- 少年女子シングルス
- 一位 原 茜 (山形城北高)
- 二位 齊藤真優子 (山形商業)
- 三位 清和真理子 (羽黒高校)

- 青年女子ダブルス
- 一位 鈴木 花織・佐藤 茜 (株でん六)
- 二位 清嶋 夏希・井上 京子 (JA鶴岡/鶴岡バドミントンOB会)
- 三位 小林 未季・鈴木 希 (エスポート/第一生命)

- 青年女子シングルス
- 一位 鈴木 花織 (株でん六)
- 二位 高橋 麻耶 (東北福祉大学)
- 三位 佐藤 茜 (株でん六)

- 30代女子ダブルス
- 一位 沼澤さゆり・坂東真由美 (新庄協会/かみじ荘)
- 二位 秋庭 郁子・小林 朱 (山形ケンウッド/庄内町総合体育館)
- 三位 我孫子博美・松田真里子 (でん六/松皆塾)

- 40代女子ダブルス
- 一位 笹原 智江・遠藤美代子 (ひまわり/しらとり)
- 二位 東海林直美・沼澤 宏子 (しらとり)
- 三位 板垣 尚美・沼澤 真理子 (新庄市施設振興公社/北辰小学校)

- 50代女子ダブルス
- 一位 佐藤美代子・柴田美恵子 (ワイナナス/新庄地区協会)
- 二位 須藤 真弓・佐藤 明美 (クイーン/しらとり)

- 山形県中学校総体 (2010・7・23～25 小真木原総合運動公園)
- 男子団体
- 一位 鶴岡市立鶴岡第三中学校
- 二位 鶴岡市立鶴岡第一中学校
- 三位 鶴岡市立新庄中学校
- 女子団体
- 一位 天童市立第二中学校

- 二位 米沢第六中学校
- 三位 長井市立長井南中学校
- 山形市立第三中学校

- 男子ダブルス
- 一位 尾形 宗宏・三浦 恭平 (鶴岡三中)
- 二位 五十嵐貴紀・原田健太郎 (鶴岡三中)
- 三位 五十嵐克嗣・櫻井 光星 (山形十中)
- 丸山 恭平・工藤 歩 (鶴岡一中)

- 男子シングルス
- 一位 渋谷 勇希 (鶴岡一中)
- 二位 五十嵐 優 (鶴岡四中)
- 三位 奥山 皓太 (天童四中)
- 菊地 琢真 (長井南中)

- 女子ダブルス
- 一位 安部優衣子・安部 由貴 (采沢二中)
- 二位 堀米 早織・齋藤 桜 (采沢六中)
- 三位 荒井彩恵子・櫻庭可奈子 (山形十中)
- 山口 優依・菅 夏澄 (天童四中)

- 女子シングルス
- 一位 矢萩 樺恋 (天童二中)
- 二位 伊藤 由季 (天童二中)
- 三位 鈴木 彩代 (長井南中)
- 八木 瑞月 (長井南中)

JOC 選手権大会山形県予選会
(2010・8・15 山形県総合運動公園)

- ジュニア男子ダブルス
- 一位 鈴木 諒・加藤 壮竜 (山形商業)
- 二位 五十嵐 優・齋藤 洋平 (鶴岡四中/山形三中)
- 三位 小野 貴人・小野 秀彰 (山本学園)
- 齋藤 健太・小南 俊貴 (鶴岡工業)

- ジュニア男子シングルス
- 一位 加藤 壮竜 (山形商業)
- 二位 田中 貴志 (山本学園)
- 三位 鈴木 諒 (山形商業)
- 小野 貴人 (山本学園)

- ジュニア新人男子シングルス
- 一位 渋谷 勇希 (鶴岡一中)
- 二位 齋藤 大慎 (新庄中)
- 三位 藤井 啓 (天童一中)

- ジュニア女子ダブルス
- 一位 松澤美沙希・川越 愛奈 (鶴岡北高)
- 二位 伊藤 愛・池田 智香 (山形商業)
- 三位 齋藤真優子・伊藤 実里 (山形商業)
- 菊地 真子・田村 遥 (鶴岡北高)

- ジュニア女子シングルス
- 一位 齋藤真優子 (山形商業)
- 二位 色摩 文佳 (米沢六中)
- 三位 秋庭みのり (鶴岡北高)
- 松澤美沙希 (鶴岡北高)

- ジュニア新人女子シングルス
- 一位 八木 瑞月 (長井南中)
- 二位 伊藤 由季 (天童二中)
- 三位 佐藤 結香 (天童二中)

GET THE NEW POWER!

YONEX

確実なるパワーと自在に操れるラケットワーク。
「ボルトリック」の新しい力を手に入れる!

VOLTRIC 70 / ボルトリック70 / VT70
¥21,000 (本体価格¥20,000) 日本製

VOLTRIC 70

www.yonex.co.jp/voltric/

県小学生学年別選手権大会兼東北大会県予選会
(2010.8.21 山形県体育館)

- 6年生以下男子ダブルス
 - 一位 鈴木 遊・大島 千聖 (山口)
 - 二位 清野 翔太・山本 祐貴 (鶴岡JBC)
 - 三位 鈴木 将也・神居 大輝 (米沢南部)
- 6年生以下男子シングルス
 - 一位 渋谷 光希 (鶴岡JBC)
 - 二位 後藤 駿斗 (いづき)
 - 三位 遠藤 裕二 (愛宕)
- 5年生以下男子ダブルス
 - 一位 小野 優真・佐藤 総飛 (鶴岡JBC)
 - 二位 柿崎 峻平・幅野 康介 (奥羽)
 - 三位 柿崎 俊樹・長山 大悟 (日新)
- 5年生以下男子シングルス
 - 一位 近藤 直希 (米沢南部)
 - 二位 牛澤 晃太 (長井JSC)
 - 三位 高橋 宏介 (大山)
- 4年生以下男子ダブルス
 - 一位 佐藤 輝樹・安達 大真 (鶴岡JBC)
 - 二位 仁科 樹・遠藤 黎 (米沢南部)
 - 三位 大友 雄祐・花輪 幸汰 (天童市)
- 4年生以下男子シングルス
 - 一位 本間 暉人 (鶴岡JBC)
 - 二位 赤木 優佑 (米沢南部)
 - 三位 中鉢 謙 (鶴岡城北)
- 6年生以下女子ダブルス
 - 一位 村山 可純・伊藤 清華 (山口)
 - 二位 大沼 若佳・船橋奈津実 (上山)
 - 三位 庄司明日香・長谷川晴子 (天童市)
- 6年生以下女子シングルス
 - 一位 伊藤 汐里 (山口)
 - 二位 吉田 爽 (ふじかけ)
 - 三位 石澤 更紗 (上山)
- 5年生以下女子ダブルス
 - 一位 佐藤 音々・太田 爽 (天童市)
 - 二位 伊藤 虹汐・安部 紗彩 (愛宕アイオ)
 - 三位 島貫 莉奈・嵐田 琴珠 (広幡)
- 5年生以下女子シングルス
 - 一位 小関 杏奈 (天童市)
 - 二位 花輪 祥子 (天童市)
 - 三位 伊藤 愛 (山口)
- 4年生以下女子ダブルス
 - 一位 石澤希らら・吉田 有希 (上山)
 - 二位 佐藤 莉帆・庄司 晴香 (天童市)
 - 三位 横川 実咲・岩田 玲佳 (南部シャトル)
- 4年生以下女子シングルス
 - 一位 大沼友里愛 (山口)
 - 二位 遠藤 育帆 (南部シャトル)
 - 三位 三上 菜月 (米沢南部)

さくらんぼ山形県レディースバドミントン連盟大会
(2010.9.5 山形県体育館)

- 一部
 - 一位 米沢アイリス

第18回山形県少年少女スポーツ交流大会
(2010.9.23 小真木原総合運動公園)

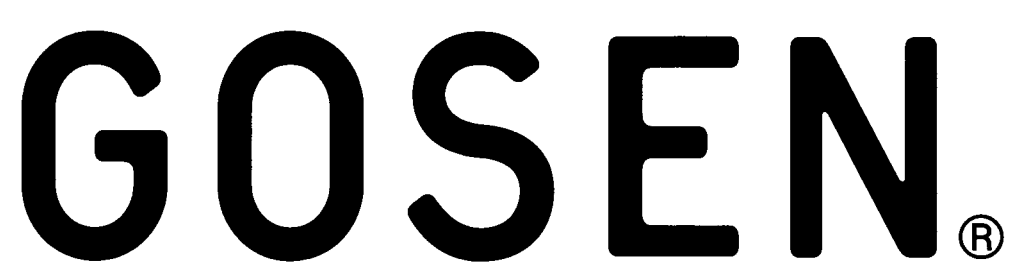
- 男子団体Aブロック
 - 一位 米沢南部ジュニアバドミントンクラブ
 - 二位 日新バドミントンスポーツ少年団
 - 三位 いづきバドミントンスポーツ少年団
- 男子団体Bブロック
 - 一位 長井バドミントンJ・S・C
 - 二位 致道バドミントンスポーツ少年団
 - 三位 栄バドミントンスポーツ少年団
- 男子団体Cブロック
 - 一位 大山バドミントンスポーツ少年団
 - 二位 奥羽ジュニアバドミントンクラブ
 - 三位 南部シャトルスポーツ少年団
- 女子団体Aブロック
 - 一位 上山ジュニアバドミントンスポーツ少年団
 - 二位 致道バドミントンスポーツ少年団
 - 三位 白鷹ジュニアバドミントンスポーツ少年団
- 女子団体Bブロック
 - 一位 南部シャトルスポーツ少年団
 - 二位 愛宕アイオバドミントンスポーツ少年団
 - 三位 大山バドミントンスポーツ少年団
- 女子団体Cブロック
 - 一位 ふじかけバドミントンスポーツ少年団
 - 二位 米沢南部ジュニアバドミントンクラブ
 - 三位 鶴岡六学区バドミントンスポーツ少年団
- 女子団体Dブロック
 - 一位 長井バドミントンJ・S・C
 - 二位 真室川バドミントンスポーツ少年団

山形県中学校新人大会
(2010.10.16 山形県体育館)

- 男子団体
 - 一位 天童市立第二中学校
 - 二位 鶴岡市立鶴岡第一中学校
 - 三位 新庄市立新庄中学校
- 女子団体
 - 一位 天童市立第二中学校
 - 二位 長井市立長井南中学校
 - 三位 鶴岡市立鶴岡第三中学校
- 男子ダブルス
 - 一位 伊藤 駿・鈴木 翔 (天童二中)
 - 二位 小野 文太・高橋 勇希 (新庄中)
 - 三位 相馬 雄貴・林 泰成 (山形三中)
- 男子シングルス
 - 一位 渋谷 勇希 (鶴岡一中)
 - 二位 齋藤 大慎 (新庄中)
 - 三位 齋藤 輝希 (鶴岡三中)
- 女子ダブルス
 - 一位 青木 望・高橋 明帆 (采沢六中)
 - 二位 伊藤 雅・伊藤 千里 (天童二中)
 - 三位 岡本 舞・安部菜美子 (長井南中)
- 女子シングルス
 - 一位 伊藤 由季 (天童一中)
 - 二位 八木 瑞月 (長井南中)
 - 三位 菅 夏澄 (天童四中)

山形県高校新人大会
(2010.11.6-7 山形市総合スポーツセンター)

- 男子団体
 - 一位 山本学園
 - 二位 山形商業
 - 三位 山形南・鶴岡工業
- 女子団体
 - 一位 鶴岡北
 - 二位 山形商業
 - 三位 山形城北・山本学園
- 男子ダブルス
 - 一位 金子 直人・田中 貴志 (山本学園)
 - 二位 鈴木 諒・加藤 壮竜 (山形商業)
 - 三位 小野 貴人・小野 秀彰 (山本学園)
- 男子シングルス
 - 一位 加藤 壮竜 (山形商業)
 - 二位 須藤 康大・笹原 隆 (山本学園)



- 女子ダブルス
 - 一位 齊藤真優子・伊藤 実里 (山形商業)
 - 二位 池田 智香・伊藤 愛 (山形商業)
 - 三位 秋庭みのり・川越 愛奈 (鶴岡北)
 - 菊地 眞子・松澤美沙希 (鶴岡北)
- 女子シングルス
 - 一位 齊藤真優子 (山形商業)
 - 二位 松澤美沙希 (鶴岡北)
 - 三位 秋庭みのり (鶴岡北)
 - 伊藤 実里 (山形商業)
- 山形県スポーツ少年国交流大会 (2010.11.21 新庄市体育館)
 - 6年生以下男子ダブルス
 - 一位 渋谷 光希・山本 祐貴 (鶴岡JBC)
 - 二位 大島 千聖・鈴木 遊 (山口)
 - 三位 岸田 紘和・加藤 駿 (日新)
 - 6年生以下男子シングルス
 - 一位 渋谷 光希 (鶴岡JBC)
 - 二位 後藤 駿斗 (いつき)
 - 三位 大島 千聖 (山口)
 - 5年生以下男子ダブルス
 - 一位 小野 優真・佐藤 総飛 (鶴岡JBC)
 - 二位 佐藤 輝樹・安達 大真 (鶴岡JBC)
 - 三位 牛澤 晃太・高橋 龍聖 (長井JSC)
 - 6年生以下女子ダブルス
 - 一位 伊藤 清華・村山 可純 (山口)
 - 二位 伊藤 汐里・大沼友里愛 (山口)
 - 三位 石澤 更沙・塩崎 若葉 (上山ジュニア)
 - 6年生以下女子シングルス
 - 一位 伊藤 汐里 (山口)
 - 二位 村山 可純 (山口)
 - 三位 吉田 爽 (ふじかけ)
 - 5年生女子ダブルス
 - 一位 花輪 祥子・小関 杏奈 (天童市)
 - 二位 佐藤 音々・太田 爽 (天童市)
 - 三位 伊藤 愛・渡邊 唯 (山口)

- 男子ダブルス
 - 一位 後藤 匠・菅原 理央 (鶴岡一中)
 - 二位 阿部 竜生・長山 貴洋 (日新中)
 - 三位 岡田 樹・大林 圭太 (天童二中)
- 男子シングルス
 - 一位 本間 稜人 (鶴岡一中)
 - 二位 齋藤 輝希 (鶴岡二中)
 - 三位 大山 喬文 (米沢二中)
 - 相馬 匠 (天童四中)
- 女子ダブルス
 - 一位 高橋 紅亜・梅津 南瑠 (米沢二中)
 - 二位 曳地 彩華・樋口 香澄 (山形六中)
 - 三位 菅原 美里・高野 志保 (立川中)
 - 松田 仁見・小野 萌香 (天童一中)
- 女子シングルス
 - 一位 安部 菜美子 (長井南)
 - 二位 高橋 美咲 (白鷹西中)
 - 三位 伊藤 千里 (天童二中)
 - 佐藤 結香 (天童二中)
- 県高校生あすなろ大会 (2011.2.13 山形県体育館)
 - 男子ダブルス
 - 一位 青柳 孝祐・奈良 崎凌 (東海大山形)
 - 二位 井上 大輔・山田 勇希 (長井工業)
 - 三位 佐藤 掌樹・栗野 元 (東海大山形)
 - 高橋 季記・樋渡 大樹 (米沢興譲館)
 - 男子シングルス
 - 一位 安部 遼平 (長井)
 - 二位 佐藤 翔太 (大山山形)
 - 三位 田中 大輔 (山形南)
 - 酒井 義也 (寒河江)
 - 女子ダブルス
 - 一位 田村愛美里・鈴木 真央 (鶴岡南)
 - 二位 水見 有沙・島貫 香織 (米沢東)
 - 三位 松田 捺未・國井 咲 (山形北)
 - 栗野 優・渡辺 美優 (上山明新館)
 - 女子シングルス
 - 一位 佐藤 緩奈 (九里学園)
 - 二位 須貝 円香 (長井工業)
 - 三位 後藤 晴香 (南陽)
 - 布施みいな (山形北)

- 3年生男子シングルス
 - 一位 高橋 翔馬 (長井JSC)
 - 二位 花輪 幸汰 (天童市)
 - 三位 五十嵐光海 (鶴岡六学区)
- 2年生男子シングルス
 - 一位 永寿 孝太 (大山)
 - 二位 長塚 拓也 (ふじかけ)
- 1年生男子シングルス
 - 一位 山科 陽翔 (奥羽JBC)
 - 二位 本間 蒼人 (鶴岡JBC)
 - 三位 細野 翔生 (南部シャトル)
- 4年生女子シングルス
 - 一位 村山 可純 (山口)
 - 二位 伊藤 汐里 (山口)
 - 三位 吉田 爽 (ふじかけ)
- 5年生女子シングルス
 - 一位 小関 杏奈 (天童市)
 - 二位 伊藤 愛 (山口)
 - 三位 花輪 祥子 (天童市)
- 4年生女子シングルス
 - 一位 大沼友里愛 (山口)
 - 二位 遠藤 育帆 (南部シャトル)
 - 三位 三上 菜月 (米沢南部)
- 3年生女子シングルス
 - 一位 庄司 晴香 (天童市)
 - 二位 菅野 涼葉 (長井JSC)
 - 三位 小林 優衣 (沼田)
- 2年生女子シングルス
 - 一位 原田 美唯 (ふじかけ)
 - 二位 大竹真夏果 (上山ジュニア)
 - 三位 梅津 茉那 (長井JSC)
- 1年生女子シングルス
 - 一位 太田 咲 (天童市)
 - 二位 近藤 亜美 (米沢南部)
 - 三位 小松 杏南 (長井JSC)
- 全国・東北大会
 - 第10回全日本中学生選手権京都大会 (2010.3.26~28 京都府宇治市・城陽市)
 - 団体
 - 決勝トーナメント1回戦進出
 - 五十嵐 優・色摩 文佳・齋藤 洋平
 - 三浦 恭平・高橋 雅幸・安部 由貴
 - 安部優衣子・澁谷 勇希・矢萩 権彦
 - 第28回全日本レイスバドミントン選手権大会 (2010.7.29~8.1 宮城県・仙台市)
 - 都道府県対抗 決勝トーナメント2回戦進出
 - クラブ対抗 出場 クイーンクラブ
 - 第25回若葉カップ全国小学生大会 (2009.7.30~8.2 京都府長岡京市)
 - 男子団体
 - 出場 鶴岡ジュニアバドミントンクラブ



JAPAN BADMINTON
Pro Shop Union
日本バドミントン専門店加盟店で求め下さい。

PRO FEATHER

PRO FEATHERは1羽から14枚しか取れない羽根を厳選し、徹底した品質管理の基に理想の飛びを追求した、専門店会こだわりのシャトルコックです。

GX
¥4,830.(4,600)
●第一種検定合格球

総発売元 **株式会社 外口**
〒101-0021 東京都千代田区外神田5-6-4

飛びに応える究極のフォーム

●女子団体 出場 山口バドミントンスポ少
全国高校総体
 (2010・7・28～8・2 沖縄県・糸満市)

●男子学校対抗戦 出場 山形南
 ●女子学校対抗戦 出場 山形城北
 ●男子ダブルス 出場 高橋 諒・高橋 航太
 ●男子シングルス ベスト16 大山 琢也
 出場 菊地 瞭良
 ●女子ダブルス 3回戦進出 原 茜・菅原 沙織
 2回戦進出 鈴木 祭・小関真莉菜
 ●女子シングルス 2回戦進出 清和真理子・小野 愛

第11回全国小学生ABC大会
 (2010・8・13～15 熊本県八代市)

●男子Aグループ ベスト8 渋谷 光希
 ●男子Bグループ 下位トーナメントベスト4 本間 暉人
 ●女子Aグループ ベスト16 伊藤 汐里
 ●女子Bグループ ベスト32 大沼友里愛
 ●女子Cグループ 出場 大竹真夏果

第40回全国中学校バドミントン大会
 (2010・8・18～21 岡山県・倉敷市)

●男子シングルス 2回戦進出 渋谷 勇希

全国高校定通大会
 (2010・8・18～20 神奈川県)

●男子団体 2回戦進出
 ●女子団体 2回戦進出
 ●男子シングルス 2回戦進出 佐藤 満
 ●男子シングルス 2回戦進出 小松 佑貴
 ●女子シングルス ベスト8 鈴木 里歩
 ●女子シングルス 出場 星 恵子

第45回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会
 (2010・8・21～22 三重県鈴鹿市)

●男子ダブルス 三位 五十嵐 凌・安達 優大

第64回国民体育大会
 (2010・10・1～4 千葉県野田市)

●成年男子 出場
 ●少年男子 出場

第29回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
 (2010・9・17～20 愛知県大府市)

●ジュニア男子単 ベスト16 五十嵐 優
 ●ジュニア男子単 2回戦進出 加藤 壮竜
 ●ジュニア男子複 出場 鈴木 諒・加藤 壮竜
 ●ジュニア女子単 3回戦進出 齊藤真優子
 ●ジュニア女子複 2回戦進出 川越 愛奈・松澤美沙希

●ジュニア新人男子単 ベスト32 渋谷 勇希
 ●ジュニア新人男子単 2回戦進出 齊藤 大慎
 ●ジュニア新人女子単 2回戦進出 八木 瑞月
 ●ジュニア新人女子単 出場 伊藤 由季

第9回日本バドミントンジュニアグランプリ
 (2010・10・29～31 宮城県仙台市)

●男子 出場 渋谷 光希・奥山 皓太
 齊藤 洋平・田中 貴志・三浦 恭平
 大島 千聖・尾形 宗宏・鈴木 諒
 大山 琢也・加藤 壮竜
 ●女子 出場 伊藤 汐里・色摩 文佳
 矢萩 権恋・齊藤真優子・安部優衣子
 石澤 更沙・安部 由貴・川越 愛奈
 松澤美沙希

第27回全日本シニア選手権
 (2010・11・20～22 福岡県)

●50女子複 準優勝 佐藤美代子
 ●55男子複 ベスト4 岡田 寿紀・丸山 勝美

第19回全国小学生バドミントン選手権
 (2010・12・24～28 愛媛県松山市)

●男子団体 準優勝 渋谷 光希・大島 千聖
 鈴木 遊・後藤 駿斗・小野 優真
 ●女子団体 出場 伊藤 汐里・伊藤 清華
 村山 可純・吉田 爽・小関 杏奈

東北総合体育大会
 (2010・8・20～22 岩手県)

●少年男子団体 団体出場権獲得
 大山 琢也・菊地 瞭良・塚本 昌志
 ●30歳以上男子複 ベスト8 遠藤 保樹・高橋 俊満
 芳輝 青柳 壮彦
 ●30歳以上男子単 準優勝 石沢 良則 保樹
 ●40歳以上男子複 ベスト8 嵐田 芳輝
 ●50歳以上男子複 準優勝 加藤 安史・長谷川典靖
 安孫子啓一・西川 幸一
 ●優勝 丸山 勝美・小関 勝也
 ●ベスト8 岡田 寿紀・金沢 英次
 ●ベスト4 沼澤さゆり・坂東真由美
 ●50歳以上女子複 ベスト4 佐藤美代子・柴田美恵子

●混合 ベスト4 今野 隆史・鈴木 希
東北中学校バドミントン選手権大会
 (2010・12・26～28 青森県)

●男子団体 三位 天童二中
 ●ベスト8 新庄中・鶴岡一中
 ●ベスト16 米沢二中
 ●女子団体 ベスト8 天童二中
 ●ベスト16 山形三中・長井南中
 出場 鶴岡三中
 ●男子複 ベスト8 伊藤 駿・鈴木 翔
 ●男子単 ベスト16 工藤 歩・本間 駿人
 相馬 雄貴・林 泰成
 小野 文太・高橋 勇希
 近藤 勇人・高橋 悠也
 井澤 良太・市村 颯人
 五十嵐伊吹・佐藤 湊人
 ●男子単 ベスト4 渋谷 勇希
 ●ベスト8 齋藤 大慎
 ●ベスト16 齋藤 輝希
 2回戦進出 森谷 貴仁
 出場 庄司 祐太・伊藤 尚弥
 牛澤 晴也・佐藤 誠朗

●女子複 ベスト16 高橋 明帆・青木 望
 村山明日香・村山 晴香
 伊藤 稚・伊藤 千里
 岡本 舞・安部菜美子
 2回戦進出 加藤 帆夏・笹原 悠莉
 高橋 薫菜・佐藤明日香
 大川日菜子・伊藤 佳南
 出場 安孫子綾香・飯野 楓
 ●女子単 ベスト8 伊藤 由季・八木 瑞月
 ●ベスト16 菅 夏澄
 2回戦進出 早坂 美里・佐藤 結香
 中鉢 喜子
 出場 渡部なつき・阿部 優真

第39回高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
 (2011・1・21～23 岩手県北上市)

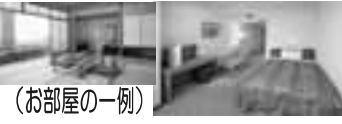
●男子団体 三位 山形市立商業高等学校
 ●ベスト8 山本学園高等学校
 2回戦進出 山形南高等学校
 出場 鶴岡工業高等学校
 ●女子団体 2回戦進出 鶴岡北高等学校・山形城北高等学校
 出場 山形市立商業高等学校・山本学園高等学校
 ●男子複 ベスト8 鈴木 諒・加藤 壮竜
 ●男子単 出場 金子 直人・田中 貴志
 ●女子複 ベスト8 須田 康大・加藤 壮竜
 ●女子単 出場 齊藤真優子・伊藤 実里
 ●女子単 ベスト8 齊藤真優子

こんにちは **あこや会館** です
 地共済宿泊施設

『第50回全日本教職員バドミントン選手権大会』の
 地元山形での開催を記念しまして、特別応援プランをご用意いたしました。
 通常一般料金 5,775円 **3,500円** (特別応援プランとご一緒)
 (素泊り 諸経費込み)

～ ご宿泊、御宴会、ご昼食、各種会議などに御利用くださいませ！～

◎ご予約・お問合せ先
 TEL 023-642-1358 FAX 023-642-1360
 HP <http://www.2.jan.ne.jp/~akoya/>
 〒990-0023 山形市松波二丁目8番1号



体幹の鍛え方

やはぎ接骨院 矢萩 裕

皆さんは体幹の鍛え方っていうと何を想像しますか？最初に、皆さん考えられるのは腹筋トレーニングではないでしょうか？きつい？と思う方も多いですが今はいろんな方法があります。バランスボールを使ったもの、自体重でできるもの、ゴムを使ったものなど数多くありますが、今回は道具を使わず畳一枚でできるものをご紹介します。まず、はじめになぜ体幹のトレーニング必要なのか？そこから話をしてみたいと思います。どんなスポーツでも身体の軸がぶれてしまったらいい動きができなくなり、力強さがでてきません。バドミントンでいうと体幹の強さは相手のコートにしっかり打ち返す為のシャトルの強さや正確性・打ったあとの次の動作などにも影響してきます。また、バドミントンのシャトルを打つ動きは下半身の力を体幹につなげてその動きをラケットにつなげていく動作です。したがって、体幹をしっかり鍛える事でパフォーマンスが向上していきます。是非、やってみてください。体幹の評価で一番手っ取り早いのが上体起こしです。みなさんも学校での体力測定で行ったことがあると思います。やり方：1) 測定を行う方は、膝を曲げて背中を床につけます。手は耳の脇につけます。(注意：頭の後ろで手を組んでしまうと腕のちからで起こしてしまうからです。) 2) スタートは背中をつけた状態から肘を膝につけるようにして30秒で何回できるかです。



スタートポジション

小学生男子 目標 25回以上
 中学生男子 目標 30回以上
 高校生男子 目標 35回以上
 一般男性 目標 30回以上
 (年齢によって差があります。また、個人差もあります)



フィニッシュポジション

小学生女子 目標 20回以上
 中学生女子 目標 25回以上
 高校生上肢 目標 30回以上
 一般女性 目標 25回以上
 (年齢によって差があります。また、個人差もあります)

ので無理せず少しずつ増やしていきましょう。)

日頃のトレーニングとして、2種類の方法を行ってみたいと思います。

シットアップ

- 1) 膝を曲げて、手の平は自分の頬にあて、息を吸いながら顎を引いておきます。
- 2) 自分のおへそを覗き込む様に息を吐きながら行きます。



ツイスト

- 1) 両膝を立てて片足を反対の膝の上に足首をかけて、かけた足の手は肩の高さで伸ばし、反対の手は耳におきます。
- 2) 肘と膝をつける様に息を吐きながらもっていきます。このとき反動は使わず行ってください。



シットアップとツイストは1セット10回の2～3セット行ってみましょう。回数的にきつい場合は、少ない回数から行ってフォームが崩れない様にしましょう。

スタビリゼーション

トレーニング

肘とつま先を床につけて、肩～腰～足までまっすぐなポジションをとってこのまま30～60秒保持します。その間、ぐらついたり腰が下がったり上がったりしない様にしましょう。腹筋や背筋、そして肩の安定性にも効果的です。



悪い例

腰が上がっている例



編集後記

新年を迎え、うれしいニュースが飛び込んできました。

冒頭の写真にも掲げましたが、全国小学生選手権大会で男子団体が準優勝に輝いたものです。

連盟・各所属チームなど関係者の努力の成果で本当にうれしいニュースでした。

新年度も、各大会への取材や選手の活躍に焦点を当てた活動に努力していきますので、よろしくお願ひします。

広報委員長 高橋耕太郎

日本バドミントン専門店会



不満はありませんか？

あなたのバドミントン用品をお買いになる時、ショップに対する不満はありませんか？あなたの不安を少しでも取り除く面倒の良いショップが、日本バドミントン専門店会に加盟しているショップです。

通信販売も行っています。お気軽にお申し込みください。

バドミントン・テニス用品専門店 日本バドミントン専門店会会員

ラケットショップ山形

山形市久保田1-8-6

TEL.023(643)6238